

令和3年度 胎内市観光活性化推進委員会 議事録

1 日時

令和3年12月22日（水）午後1時30分～3時30分

2 会場

胎内市役所 2階 大会議室

3 出席委員

高橋晃会長、平川啓一副会長、須貝勝男委員、須貝建雄委員、佐藤稔委員、朽網裕子委員、久世俊介委員、布川拓男委員、眞貝佳央梨委員

観光振興サポーター 神田圭奈

4 委員会傍聴者

4名

5 会議次第

- (1) 第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況について（令和2年度確定値）
- (2) 第2次胎内市観光振興ビジョンアクションプランの状況について（体験プログラム関係）
- (3) 主要観光施設月別入込客数等の推移について
- (4) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金活用事業について
- (5) 2022 春夏シーズンの方向性について

6 会議経過

別紙のとおり

会議経過

1 開会

○事務局佐藤参事

皆さんこんにちは。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

ただいまから、胎内市観光活性化推進委員会を開会します。はじめに、本日の開会にあたりまして、胎内市副市長の高橋からご挨拶申し上げます。高橋副市長お願いいたします。

○高橋会長

あいさつ

2 議題（1）

○高橋会長

それでは議題（1）について、事務局は説明をお願いします。

○事務局比企主任

（議題（1）について資料1、2をもとに説明）

○高橋会長

今ほど事務局から議題（1）観光振興ビジョンの達成状況について説明がありました。

質問、ご意見ございませんでしょうか。

○平川副会長

量的目標の施設売上高には何が入っているのか。

○事務局比企主任

売上高の目標値を設定した際に、主要な施設ということでピックアップしている。全て上げると胎内スキー場、ロイヤル胎内パークホテル、奥胎内ヒュッテ、フィッシングパーク、そば処みゆき庵という胎内リゾート関係と、観光協会の売店、塩の湯温泉、きのと観光物産館、樽ヶ橋遊園、クアハウスたいない、誠食堂と民間の宿泊施設からデータ等をいただき集計している。

○平川副会長

学習施設、展観施設は含まれていないのか。

○事務局比企主任

そのあたりは除いている。

○平川副会長

それは観光とは別と考えるのか。市役所の担当課が違うから分からないとか。

我々市民からすると展観施設も文化的な施設と考えるので観光の一つなのではないかと考えるが、その辺はどうなのか。私だけの意見ではなく考え方として。

○事務局南波課長

そこは観光だとか教育だとかはあまり関係ないと思うが、あくまでも主要ということで、全てではない。

○平川副委員長

例えばロイヤル胎内パークホテルにしても、修学旅行生を受け入れるときに、文化的な施設を使用してロイヤル胎内パークホテルに泊まる。そうするとき観光の部分だけではなくて当然周りのほうも、主要じゃないだろうってことで除いているのだろうが、それも一つの大きな観光として含まれるのではないかという感じがする。

○事務局南波課長

観光入込客数のところには入っている。あくまでも主要な売り上げというところで考えている。

○高橋会長

他いかがでしょうか。

○布川委員

胎内リゾートの業績について。

入込客数はいいとして、いきなり営業利益という表示を持ってきているのは、おそらく売り上げがあつて利益がある。売り上げを省略し利益とした背景は。

○事務局比企主任

観光振興ビジョンのアクションプランの中での横断的取り組みとして胎内リゾートの再生という項目があり、各施設の業績改善を図る指標という形で策定時に宿泊客数と営業利益というのをういたことから、それをそのまま使用している。

○布川委員

了解した。

○高橋会長

他にございませんか。

(意見なし)

最後の方に一括で質問、ご意見を受け付けたいと思いますので、次に進めさせていただきます。続きまして議題(2)について事務局説明をお願いします。

○事務局比企主任

(議題(2)について資料3をもとに説明)

○高橋会長

質問、ご意見いかがですか。

○布川委員

「いどろり胎内」私的には非常に良いものだと思っている。奥さんに1号から5号までシャッフルをして順番をつけようと言ったら、新しいものから順番をつけた。聞くところによると、観光振興推進サポーターの神田さんが編集長？

○神田観光振興推進サポーター

はい。

○布川委員

ということで素晴らしい。私的に言うと文字がちょっと小さいなという気が。あとこれ胎内ロイヤルパークホテルでもらってきたパンフレットだけど、これ見ると写真なんかもわりと同じのを使っている。ということはこの中には神田さんは何かしら絡んでいるのか。絡んでいないのか？

○神田観光振興推進サポーター

はい。(絡んでいません)

○布川委員

てっきり絡んでいるのかと。

○事務局比企主任

編集には携わっていないが、造成した体験プログラムを胎内リゾートの方で取り上げていただく場合には、素材の提供等を神田のほうから。

○神田観光振興推進サポーター

関わっていました。

○布川委員

これは春のもので、これはこれで素晴らしい。

○事務局南波課長

「いろどり胎内」を作るのに編集長を筆頭に様々な方に関係していただきその中に胎内リゾートさんも入っていただいているので、良いのを使ってもらっている。

○高橋会長

他いかがでしょうか。

○眞貝委員

春夏シーズン、秋冬シーズンとテーマが設定されているが、テーマというのはまた来年度も変わっていくのか。

○事務局比企主任

基本的にベースとなるのはアクションプランというものがあり、それを達成するために今であればコロナ禍であったり、マイクロツーリズムというようなトレンドを意識して編集長と相談したうえで、響くテーマを毎回設定していく形になっている。

○眞貝委員

このプランというものを基にテーマを決めているのか。

○事務局比企委員

どちらかというテーマやトレンドを先に作ってプログラムを造っていくような形です。

○眞貝委員

ありがとうございます。

○高橋会長

他いかがでしょうか。

○朽網委員

春夏シーズンのプログラムの鍋倉山の実績人数が少ないが何かあったのか。

○事務局比企主任

こちらについては既存のボランティアガイドさんの枠組みをプログラムとして落とし込んだので、お一人でも申し込みができ、2回開催のお一人ずつという形。どちらかという集まって皆さんやりますよという形ではなく、常時やっているのでも電話してくださいというスタイルなため、少し集まりにくいのかなと。

○神田観光振興推進サポーター

鍋倉山は秋冬でちゃんとイベントとして2回、5ページ6番ビギナーズ登山でやっていました。ボランティアガイドを利用してということだったのでこれぐらいの人数だったのでは。

○朽網委員

同じ山なのに工夫できると違うのですね。同じことで奥胎内ヒュッテも手ぶらで HALF キャンプは 0 回の催行。

○事務局南波課長

これは様々な準備の問題で対応ができなかった。

○朽網委員

奥胎内ヒュッテ自体、宿泊客数はそんなに悪くない。

○事務局比企主任

春夏から集められるようにやっていきたいと思っている。

○神田観光振興推進サポーター

奥胎内の観光ボランティアガイドさんを募集中です。

○朽網委員

(料金の) 800 円というのはどこに行くのか。ボランティアですよ？

○事務局比企主任

保険代等を含めて運営費といいますかそういったところ。

○高橋会長

それでは進めさせていただきます。議題の (3) について事務局は説明をお願いします。

○事務局比企主任

(議題 (3) について資料 4、5 をもとに説明)

○高橋会長

この議題について何か質問ございますか。

○須貝 (建) 委員

「くると胎内」の利用状況。毎回議題になっていて思うのですが、多いとみるのか少ないとみるのか、客観的にどういう評価なのか。

○事務局南波課長

正直言いますと、ご覧のとおり少ない。それは間違いない。このままであれば当然いつまで続けられるのかとなるが、コロナが大きな原因である。いつ戻るのかある程度落ち着いたら利用者が増えるのか、それでもだめなのか。落ち着いたらどうなるのかが見たい。予算がかかっているのでそんなことを言われるのかと思うが、まずそこは考えたい。あとはルートを変えて利便性も変えてどうなるのか。劇的には変わらないかもしれないが、もう少し続けてみたいと思う。二次交通の必要性は変わらない。もっと必要になると思っている。あと何が足りないのかとは毎年言っているがそこはまた。

○布川委員

関連して「くると胎内」。令和元年度から比べるとコロナの影響で利用者が年々下がってきている。理屈は通ると思うが、十何年前の「ホリデー胎内」がある。あの時は何でやめたのかというと利用率が少ないから。1日どれくらい乗っていたかというあるデータを引っ張ってくると 8.4 人というデータがある。8.4 人と令和元年度の 6.4 人ってそんなに差はない。8.4 人を受けてやめたのに何でこれをやったのか。そもそもの理屈というか理由というかその辺がピンとこない。

○事務局南波課長

二次交通の需要が高まってきているのは間違いない。デマンド交通が観光に利用できたらいいだろうという話は前から。

○布川委員

その時はそうだった。デマンド交通を利用して「ホリデー胎内」をやめようと。そういうバックグラウンドがありながらまた10年後に同じものをスタートさせた背景は。誰かがやれといったのかなと思っているのだが違うのか。

○事務局南波課長

そういう事ではないが、「のれんす号」だと予約制なので、予約なしで乗ることのできるような方向にできないかという話からスタートしていて、そこはやっぱり難しいという事で。ではバスでやってみようかと、まあ戻った格好にはなってしまったが。

○布川委員

コスパの話。確か100万円くらいかけている。一人当たり割るとどれくらいなのか。3,000円くらい？

○事務局比企主任

2,800円くらいかと。1人にかかる経費として。

○朽網委員

でも実際は100円？無料ですか？

○事務局比企主任

無料です。

○事務局南波課長

タクシー補助みたいな話が実はこれを始めるにあたってあったが、たぶん安くできる方向も他にあるのだろうという話もあったが、バスでまた元に戻ってしまっただけのもの、バスで周るところの魅力があるのではないかという事ではないかと。

○布川委員

観光協会のホームページにこの情報が載ってない。観光協会のホームページの情報は一番見られると思う。一番肝心な所がないというのはピンとこない。

○事務局比企主任

観光協会ホームページには「くるっと胎内」専用のバナーはないが、胎内市の公共交通のバナーがあり、そのバナーが「のれんす号」のデザインになっていて公共交通とありそこをクリックすると市のホームページに飛んで、「デマンド交通」と「くるっと胎内」の両方見られる形にはなっている。現状少し見づらい状況ではあると思うので、次年度以降の参考にさせてもらう。

○平川副会長

FMしばたでは毎週発信している。検討していかなければならないのが、何度も同じことを言っている「デマンド交通」の活用方法。デマンドとは予約制という意味のデマンドだが、逆にこれと同じ時間帯に定期便を走らせるという方法がある。「くるっと胎内」ではなくて。デマンドの車を使ってこの時間帯だけはお客さんの予約がなくてもこのルートで走らせるということが十分に可能だ。

100万円を70万円に落としてうちが70万円いただく。少しでも経費を落として同じことができ

る。ただお客さんからは料金をいただく。じゃあ 300 円いただいたときに中には 0 円じゃないと乗らないという人もいる。無料だから乗っているのかというところを調べないといけませんが、普通観光として二次交通を使う時に、タダだから乗るけど 300 円取られるから乗らないってことは、僕は普通に考えられない。ということは運賃も取れてなおかつ別で走らせなくてもデマンドを利用できるっていうのもあるので、是非そのあたりは得意な比企さんが検討していただければ。受託側からの立場だとできるだろうという話をデマンドはしている。3 便×2 コースなので 6 便。例えば乙方面を受けています。こっちの方で別の車で要するに合計 6 便、3 便 3 便、やれるじゃない。ただし、正式な依頼がないと細かいのは出ないが、そういう方法をすれば別のお金が必要なくて、有料か無料かという所はまたご検討いただかなければと。

本当に布川さんがおっしゃったように一回やめたものをまた復活して、結果としてあんまり乗っていない。1 人あたり 2,800 円もかけているのだから、そのあたりは再考したほうがいい。継続をするのであれば、乗っている人たちが何を目的にしているのか。今回乗降の部分で細かく調べてもらった。何を目的にしているのか。要するに観光の二次交通という事が目的のはずだったが、本当に観光の二次交通なのか。そういう所を分析しないと二次交通をどうやっていくかっていう事に対しての答えは出てこない。卵が先か鶏が先かというのがすごくある。二次交通があるから観光に来ていただけるという事があるが、はっきりしない。仮にこのままくると胎内を継続していくのであれば、取りづらいのかもしれないがどういう目的で利用しているのかアンケートをとっていかないとちょっと難しいかなと。乗った人にアンケートを取るの難しい。そのへんも工夫しながら。もしやるのであればタダのうちにやらないと、お金をいただいてからではできない。だからアンケートに答えてくださいっていう形で来年やってみて、本当に観光に使っているのか、あるいは市内の人が使っているのか、まあそれはそれでも本当はいい。ちょっとやらないとなかなか判断が。人数だけで見ると「やめちゃえば？」ってなるのでその辺りをもう少し考えてもいいのではないかなと思う。

○事務局南波課長

そこはおっしゃるとおりで。ある程度答えてくれるかどうかがあるがそこはやっていきたいと思う。あと有料か無料かと大きいのが、あくまでも個人的な意見だが、最初から有料でやりたかったことは間違いない。それが 500 円か 100 円がいいのか。それは別だが、ただタダで乗ると 100 円を払うのではそれだけで違う。払っても乗るのかというところもあり、ある程度お金を落していただく事が観光の一つなので、そこは有料でやりたいというのは最初からあり、様々なことがあり無料になった。どういう方向になるか別として、そういったところは否定するものではない。

○高橋会長

そのほかございますか。

(意見なし)

なければ議題(4)事務局の方から説明をお願いします。

○事務局比企主任

(議題(4)について資料6をもとに説明)

○高橋会長

この議題につきまして質問、ご意見はございませんか。

(意見なし)

この件についてはないという事で。議題(1)～(4)まで今終わったわけですが、ここまでは振り返りというか今までの結果についてのお話でした。とりあえず(1)～(4)までの間でもう一度通してご質問ご意見ございませんでしょうか。

○平川副会長

団体送客支援助成金について。教育旅行は比率としてはどのくらい。

○事務局比企主任

人数で見ると教育旅行は人数が団体で多く来るので、比率的には大きくなっている。人泊でいくと半分以上が教育旅行かと思う。

○平川副会長

ありがとうございました。

○高橋会長

他にございませんか。

○布川委員

結果と経緯について。観光ディレクター、神田さんがされているということで、そもそもビジョンの中には市民の役割、観光協会の役割、行政の役割があって、その中に観光協会の中でミッションに対してディレクターが主導的にやるのだよってというストーリーだった。そのディレクターに行く前の前段として神田さんがサポーターとして頑張ってくれたと。それは一つの事実。その頑張った結果として、観光ディレクターがやるべきやった作業が9項目くらいあった。できたものとできなかったものを分けるとどんな風になったのかなど。数字で分けるというのは難しいと思うが。それは神田さんに聞いても無理だよ。

○高橋会長

事務局いかがでしょうか。9項目、これができてできないという話ではなく、全般的にこういうことはできてきている。しかしこの部分は足りなかったというようなことでの回答でよろしいかと。

○事務局南波課長

体験プログラム作成とかそこがさまざまなものの中で大きなところ。食であったりそこが大きな柱だと思う。今年度の体験プログラムとかそういったところを見ても今までにはないものであったり、今までもやっていたけれどもプログラムとして形になっているものが割と多くなってきているのではないかなと思う。

○布川委員

ミッションの文言を読んでいくと例えばプログラム10の中に各集落の取り組みをコーディネートしていくと。そんな具体的な項目があるわけですよ。それを神田さんが集落の区長にかけあって一緒に頑張っているみたいなこと言たって何の指揮権もないわけだ。うるさいって言われるのが関の山。そういう所にだれが行かなければいけないかといえば、行政のミッションとしてディレクターをバックアップするよってという項目があり、じゃあそういったできない部分に対して行政はヒト・モノ・カネを使ってどういうバックアップをしたのかなって思い、それが今後うまくいくかいかないかの境目になるのではないかと思いついて聞いている。

○事務局南波課長

バックアップは定期的に話をしながら活動というかそれらをやっているから、そういう意味でのバックアップにつながるどころでのやり取りはしている。ただ集落に行ってまでバックアップしているかというのは、そこはおっしゃる通り欠けているところではあるだろうが、そこは神田さんがしっかりやってくれているからこそ成り立っている部分なのだろうと現時点では考えている。そこはおっしゃるように更にバックアップが必要なところはまた相談をさせていただきながら、「一人で大丈夫来るな」という事もあるかもしれないし、そこはよく相談をしながらバックアップをさらにしたいと思う。

○布川委員

お願いします。

○事務局南波課長

神田さんとしては感想はどうですか。もっとバックアップがほしいですか。

○神田観光振興推進サポーター

バックアップというか、私自身集落のプログラムをコロナが始まってからあまり作れていなかったの、地域おこし協力隊の人たちにテーマに沿ったプログラムをやる予定があったら情報収集を行っていたが、今後は頼ろうと思う。

○高橋会長

現実的にも大長谷のわらび園だとか坂井集落の秘境探検等については集落と大いに関わりながら、そのところには神田さんからお話が合ったように、協力隊と関わる。協力隊に関わるといって、それはすなわち行政も関わっているの、大いに地域の方々と皆さんと市民協働という形で進めていければと思っている。

それではそのくらいで切り上げさせていただき、議題（５）へ進めさせていただきます。事務局お願いします。

○事務局比企主任

（議題（５）について資料７をもとに説明）

○高橋会長

皆さまからご意見ご質問はございますでしょうか。

○朽網委員

新しい「いろどり胎内」はどこに配布されるのか。

○事務局比企主任

これまでどちらかというと県内を中心に、多くても10部くらいずつを道の駅などに配布していた。どうしても1冊が重いので郵送経費もかかる。すでに瀬波温泉や月岡温泉に連絡を取りそういったところにも置いていただけということで、宿泊した次の日にぜひ胎内市に来てもらえるように2日目の体験プログラム等を選ぶための資料としてもらうよう月岡、瀬波あたりにも多く置きたい。

○朽網委員

もっと遠いところにも送るのか。

○事務局比企主任

東京、大阪などにも県の事務所があるので。

○朽網委員

市役所に置かれているのか。

○事務局比企主任

どちらかというアンテナショップ。行政機関については置いていない。

○朽網委員

新潟県のアンテナショップにあるのか。

○事務局比企主任

アンテナショップは原宿のネスパスと大阪に送っている。

○朽網委員

ありがとうございます。

○布川委員

さっき「いろいろ胎内」を褒めたばかりだが、やめちゃうのか。

○事務局比企主任

やめるのではなく、少し方向性を変える。

○布川委員

逆に言うと、送ったとたんになくなるのか、送っても1年ほってあるのか。人気度は把握しているのか。

○事務局比企主任

はけ具合というのは確認したことがない。送れても10部くらいの単位だったので、そのあたりをもう少し増やせればという思いで軽くしました。

○布川委員

直感的に言うと、これ作りましょう。予算に便利な物を作りましょうって、そういう発想に行かないのか。銭の部分か。

○佐藤委員

冊子のほうがしっかりしている。

○布川委員

これは読もうという気になるよね。こんなビラビラだと読もうという気にならないよね。

○事務局比企主任

そのあたり「月刊にいがた」さんも入っていただいているので、トレンド等も伺いながらさらに検討したいと思う。

○事務局南波課長

そこは活用がうまくいけばそのように続けるかもしれないが、やっぱり前のほうがいいって言ったら。

○布川委員

見る側の意思が一番大事。だからさっき言ったように、はけ具合を把握しているのかっていうのを質問した。

○朽網委員

そうですね。送った後のフォローみたいなのをされていくのであれば。

○布川委員

最後に樽ヶ橋遊園の活性化と書いてあるが、樽ヶ橋活性化委員会はやめたよね。

「樽ヶ橋ゆるゆる隊」というボランティアに入っていて、彼らに意見があれば教えてほしいと何件か聞いてきた。河川公園の淵が綺麗にあげ洗いされて非常に眺めが良い。こっちのほうは観光課と観光協会の局長がやっているのか。向こう側はボランティアがやっていて綺麗になっている。先ほどの意見の中に、綺麗になって非常に良いねと。そのままにしておくにはもったいないと。極端なことを言うと綺麗になった対岸につり橋をかけて回遊できるようなものがあるといい。その回遊の中に野生の藤があればいいなんて、いわゆる魅力向上の意見をもらっている。言ったアイデアがそのまま通るとは思わないが、そのままではもったいないという部分を少しバージョンアップするようなことをぜひ検討してもらいたいという意見。今は答えが出ないと思うので後でください。

○事務局南波課長

つり橋はなかなか。

○布川委員

あともう一つ、樽ヶ橋エリアにある「道の駅胎内」のパンフレット。これは7月にできた。エリア全体としてできたのは初めて、このパンフレットを制作したのは観光協会さんですかね。

○事務局南波課長

そうですね。

○布川委員

観光協会と書いてありますか。これを作るときにエリアのチームの人たちにアイデア頂戴という関わりがあったのかなかったのかが非常に気になるという意見があった。

○事務局佐藤参事

樽ヶ橋エリア内で月一回の定例会があり、その中で道の駅エリアをもっと情報発信しようという意見で観光協会が取りまとめ役ではないが、そういったことでこのパンフレットを制作した。

○布川委員

各施設の意見、要望が含まれていると。

○事務局佐藤参事

そうですね。

○布川委員

わかりました。

○平川副会長

少しずつお金の方もエリア内の方からいただいているので、黙ってというわけではないと思います。

○事務局佐藤参事

パンフレットの校正も当然、各施設にお願いをしている。

○布川委員

了解です。伝えておきます。

○高橋会長

他、よろしいでしょうか。

○朽網委員

体験プログラムの内容が山の方に偏っている。置いていかれている感じ。

○神田観光振興推進サポーター

感じている。布川さんの本町通りのボランティアガイドとかそういうのも載せたことはあるが、私たちももう少し何かできないかなとは思いますが、いかんせん協力してくれるというか、プレイヤーがいなかったり、そういう面で作りづらさというのが実際ある。何かいい人がいれば紹介してください。

○平川委員

この前、中条中学校の学生さんのまち歩き、60人くらい集まった。すごいよね。保護者だけじゃないよね。

○神田観光振興推進サポーター

保護者ばかりと聞きました。

○平川委員

お弁当は美味しそうだった。

○佐藤委員

今話を聞いて、布川さんのチラシの件もそうだが、私もいろいろやるとき第三者的に考える。今まであったこととかもわかる。チラシにして運賃は安くなって多く配れるが、チラシはたぶんその地域に行って並ぶ時だとすごく便利だが、確かに遠くでPRするときチラシだと手にはしれないと思う。いままでの「いろどり胎内」のものを置かないとなかなか見てくれないと思うし、大阪、東京、ネスパスとか新潟県、それこそ胎内市に興味あるかとか見てくれるところならいいが、大阪で置いたところに来るのか。そこまで魅力のあるものが今胎内市にあるかと言ったらたぶんないと思う。配るところ、きっかけを作るのは良いと思うがそのきっかけをうまく実現するのか、うまく動かす方向に行くようなことを考えていかないと自分が大阪行って何も知らない所にいきなり紙置いてあるから行きたくなくなるかって言ったらたぶん誰もならない。そっちの方向からもいろいろ考えていった方がいいのかなと思う。

○高橋会長

ありがとうございます。

○朽網委員

その施設に熱烈に胎内市をPRしてくれる人とか、それだったらすごく手に取ってくれそう。

○布川委員

郷人会長っているじゃないですか。大阪支部とか、その会長さんたちは何やっているのか。

○事務局南波課長

郷人会長、観光大使には色々なものを送ってはいるが、いろどり胎内は送っていない。そこはまた考えさせていただく。

○平川副会長

皆さんのおっしゃる通り。やっぱり「いろどり胎内」はちょっと違う。少しでも安くしたいと言うが、安くして倍の部数刷って全く無駄になったとならないようにぜひ考えていただければありがたい。配って終わらないように、見てもらえるようにしましょうよ。だって中身が良い。

だからご意見の通りこれだったら見るかもしれないが、ペラペラのだったら中身見ないかもしれない。

○朽網委員

色々サイズとか検討されるのでしょうか。それでチラシって結論をしたのか。

○事務局比企主任

胎内リゾートのチラシと同じサイズに。

○平川副会長

是非無駄にならないように。せっかくどっちにしろお金がかかるのだから。

○神田観光振興推進サポーター

次の次また冊子に戻ったら笑ってください。

○平川副会長

予算が続くのであればやっぱりこれを継続するべきだと思う。

○布川委員

これでやるの。

○事務局比企主任

その大きさです。それをもう一つ折りますけど。

○布川委員

これをこうやって見るわけ。冊子の代わりに。見ない。絶対見ない。

○高橋会長

そのあたりは皆さんの税金を使うわけで、しっかりと無駄にならないように十分検討していただきたいと思う。その他ございませんか。

3 その他

○高橋会長

それでは色々なご意見をいただきましてありがとうございます。予定されていた議題は以上ですが、その他といたしまして事務局から何かございますか。

○事務局南波課長

また年度末にもう一度参会をお願いします。

○高橋会長

その時にアクションプラン的なものが出てくるので審議いただくと。その時には固まっていますよね。だいたい原案としては。

それでは、ご審議ありがとうございました。

○その他

・胎内フルーツパークに関する意見交換

3 閉会

○事務局佐藤参事

委員の皆さま、長時間にわたりまして議論等いただきまして大変ありがとうございました。本日いただいた議論を踏まえ今後の施策等に活かしてまいりたいと思います。先ほどお話ありま

したとおり、次回は来年の3月にこの会をまた用意させていただきたいと思っております。結びに閉会のあいさつを平川副会長よりお願いいたします。

○平川副会長

(あいさつ)